



ダイニングの続き間は、キッズコーナーとして使用中。部屋の仕切りをなくしたのは、風が通り抜けてなんとも心地いい。



家の細部にも、横山さんのかだりが。1 ティーカップを逆さまにした形の照明は、アイアン製。2 リボンの形みがキュートなライトカバー。3 レトロなスタイルはネットで購入したもの。



食器棚の扉は、卵色に塗つてレトロな印象に。塗料は、100円ショップのアクリル絵の具を使用。



「シンクまわり、調理台、天井…キッチンもすべて、木で造りました。IHヒーターを使うので、木でも安心なんです」



横山さん宅は、チョコレート色の外観。庇と小窓のデザインも、まるで絵本から出てきたかのような可愛らしさ。



モスクのような入り口のサニタリーは、ブルーのタイルを使ってオリエンタルムードに。窓からは深い緑が眺められる。



カーテンは、車ひもにピンチを加えただけのレールに、ガーセ地を吊るしたり、ハンカチを使うなどラフに。



い暮らしが樂しませうです」「キを造る予定。家族全員で、もうともっとヒナチュラルで気持ちのいい暮らしが樂しませうです」

空間のアクセントにこしら
えた室内窓も木製。ガラス
やアイアンなど、ナチュラ
ル素材の雰囲気と好相性。



横山さんのお宅に一歩、足を踏み入れると、びっくり！深呼吸してみると、入るほど、すがすがしい空気満ちています。横山さんは「私がアレルギー体质なので、床はすべて杉板を敷き、壁は珪藻土で仕上げました。自然素材の力で、家の中の空気がきれになつていよいよ満ちます。」実際に1年間暮らしてみたら、軽くなった感じです。横山さんのアレルギー症状が、すいぶん軽くなつたと感じています。

実際には、「我が家の中の空気も」と話す横山さん。床はバイソン材にくらべると、肌にさらりとした感触。また、どちらDIYに夢中。食器棚や収納力のかたやじ主人は、家を建ててから魅力の一つです。

どちらDIYに夢中。食器棚や収納力のかたやじ主人は、家を建ててから魅力の一つです。

「今年の夏は、大きなウッドデッキで施工。カーポリッジホーム」

ダイニングでは、吹き抜けが心地いい開放感を醸す。妻は杉。輸入住宅メー

「今年の夏は、大きなウッドデッキで施工。カーポリッジホーム」

「今年の夏は、大きなウッドデッキで施工。カーポリッジホーム」

アレルギー体质を考えると
風通しのいい木の家が欲しくて——。
家じゅうに敷かれた杉板は
さらりとして夏も快適！

茨城県／横山さん

